



浦和大里小学校だより

3月号 令和8年2月27日発行

教育目標
夢と希望をもち、
人間性豊かで
心身ともに
たくましい子の育成



春動く ～よりよい次の1年に向けて～

校長 中野 緑

正門で子どもたちから手渡されるプレゼントの数々が、霜柱や氷などの冬の便りから、小さな花びらやテントウムシなど春の便りに変わってきました。今年度も保護者・地域の皆様の温かな声やお心遣いを励みに、子どもたちの学びを支える1年間を終えることができそうです。本当にありがとうございました。

さて、2学期に実施しました学校評価の結果を、本日お配りいたしました。学校評価は、子どもたちがよりよい学校生活を送るため、教育の質の向上と改善を図るものです。今回の結果につきましては、保護者の皆様の率直なご意見も含めて、学校運営協議会でご審議いただきました。学校評価を踏まえ、来年度も引き続き、子どものよさを認め伸ばす指導を土台とし、新しいことに挑戦したり、粘り強く取り組んだりするたくましさを育てていきます。

具体的には、本校の実態を見極めながら3・4年生でも一部教科担任制を進めます。学年の担当教諭がそれぞれ教科を分担して担当することを基本に、柔軟に対応していきます。教科担任制は、教員の教科の専門性を生かし、学問の本質的な楽しさを提供できるよさがあります。また、多くの教諭が様々なアプローチで子どもたちにかかわることで、子どもを多面的にみるよさがあります。「自分で計画を立てて学習する」「決められた日に提出物を出す」ことなど、中学校生活や、社会に出てからも必要となる力を見据えて、指導をしていきます。

二つ目は、カリキュラム・マネジメントの充実です。子どもたちには「自ら課題を見つける力」や「あきらめずに何度でも挑戦する力」「友達と協力して成し遂げる力」を身に付けさせたいと考えています。そのために、授業や行事、特別活動等を通して、それらの力をつけることをより意識した活動を取り入れ、実施していきます。また、文部科学省より「教育課程柔軟化サキドリ研究校」の指定を受け教育課程の研究を進め、月1回程度、じっくりと子どもの話を聞いたり、学習計画を立てたり、補習や発展的な学習をする時間を設けます。

その他、来年度は念願の「体育館空調工事」が入ります。7月から9月は体育館が使えなくなるというご不便をおかけしますが、工事が完了すれば熱中症の心配なく夏季の活動が行えるようになります。また、タブレット端末が新しくなり、さらにICTを活用した個別最適な学びが進むことが期待されます。

あたたかな日差しに誘われて、花が開き、虫たちもうごめき始めました。修了式まであと18日。卒業生はあと16日の登校で卒業式です。一年間を振り返り一人ひとりの成長をみんなで喜び合い、次の学年への期待を育む日々にしていこうと、職員と確認し合いました。春はもうすぐそこです。